

2024  
MIYAGI  
RECRUIT  
GUIDE

宮城県職員ガイド



宮城県職員募集2024

行政

# 業務紹介

## ◆ 概要

庶務や予算、経理、県税の賦課徴収、用地交渉、企画等の行政事務

## ◆ 勤務先

本庁各課

地方機関（県税事務所、地方振興事務所、保健福祉事務所など）

# 自己紹介

- ◆ 出身 : 宮城県白石市
- ◆ 入庁までの経歴 : H29.3 県外大学卒業  
H29.4 入庁

## 入庁後の異動歴（現在入庁8年目）

- H29.4～ **東部地方振興事務所登米地域事務所 地方振興部 商工・振興班**  
県政の広報業務など
- R1.4～ **水産林政部 全国豊かな海づくり大会推進室 総務企画班**  
本大会PR活動など
- R3.11～ **企業局 水道経営課 流域下水道班**  
予算・決算など

# 志望動機

## ◆ なぜ公務員？

学生時代の経験を活かしつつ、社会に役立ちたい気持ちがあったから

## ◆ なぜ宮城県庁？

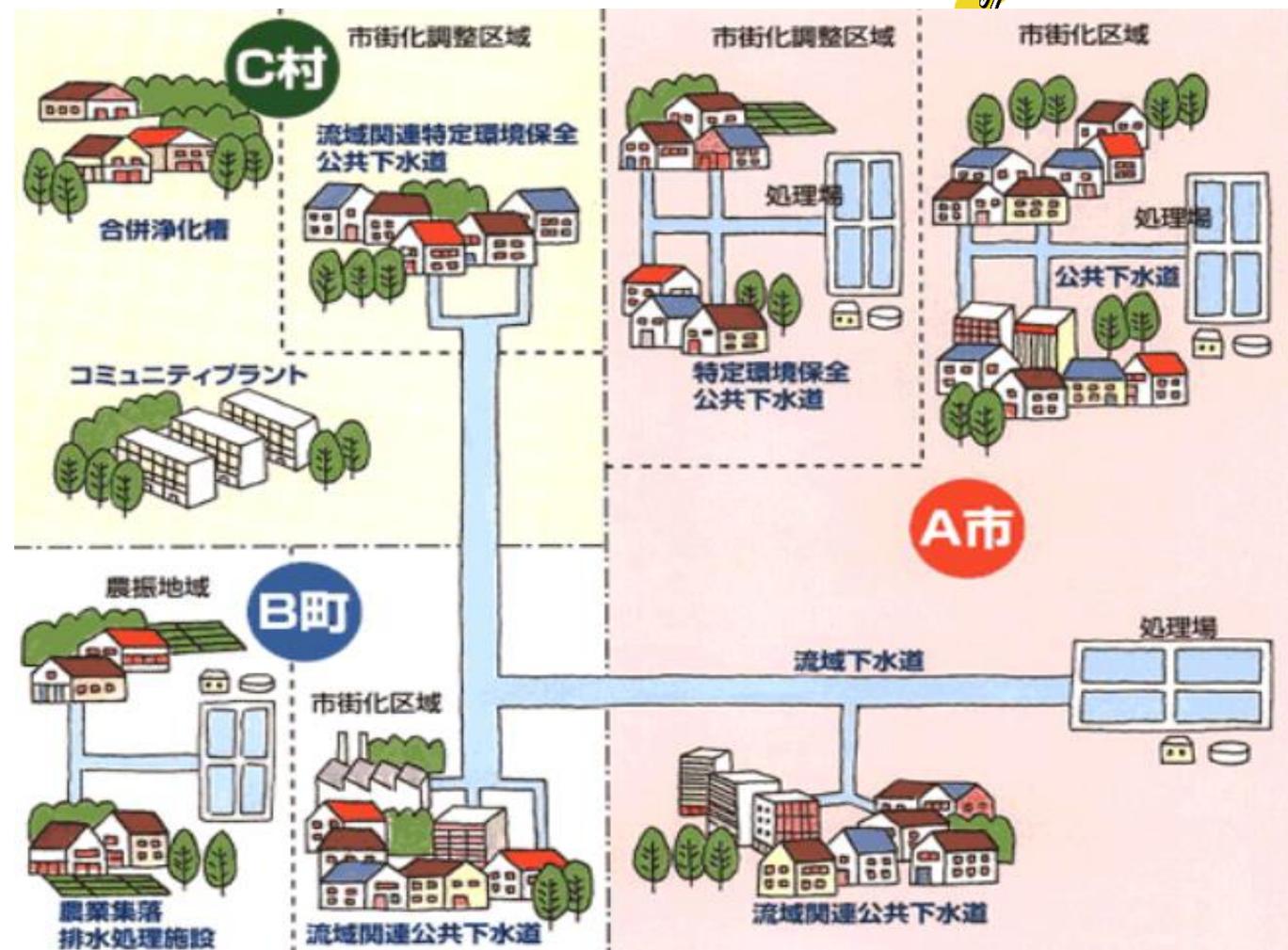
東日本大震災で被災したことにより、少しでも地元の復興等に携わりたかった

# 現在の担当業務の紹介

みやぎの未来を、クリエイト。

○流域下水道事業とは

- ・2市町村以上の区域の下水を広域的かつ効果的に排除し処理する事業。
- ・終末処理場、幹線管渠及び中継ポンプ場からなり、事業主体は原則として都道府県。
- ・本事業の予算・決算等に関する業務を行っています。



# 入庁前のイメージとのギャップ

## ◆ 入庁前のイメージ

- 行政職（事務）は現場に出ることがない？
- 職員はお堅い方々が多い？

## ◆ 入庁してみたら・・・

- （部署によるが）現場に出張することが意外と多い。
- 皆さんフレンドリーで、相談しやすい環境。

# 仕事をする上で心がけていること

## ◆ 周りの人たちとのコミュニケーション

これまでの経験上、仕事は「人」と「人」が協力し達成するものと考えます。そのため、日頃のコミュニケーションを大切にしています。

## ◆ 仕事の悩みや疑問を自分ひとりで抱えこまないこと

仕事は自分ひとりで行うものではなく、組織・チームで行うものです。分からないことは、「分からない」と上司に相談しています。

# 印象に残っている業務

- 現所属において決算業務を行った際、課内や関係課と協力し、期限内に決算書及び監査資料を作成したこと。
- 本業務を遂行する上で、仕事は自分ひとりでは完結しない、周りの方々のサポートがあって行うものというのを強く感じました。
- また、膨大な作業を経て、本業務を完了したときは、大きな達成感がありました。

# 仕事のやりがい

- 自分の担当業務が宮城県や宮城県民のために、どのようなカタチで貢献しているかを意識すると、仕事へのやりがいやモチベーションに大きく影響します。
- また、結果が目に見えないような業務においても、上司の期待に応えたとき、やりがいを感じます。

# 職場の雰囲気

- 気軽に相談できる雰囲気になっているので、業務上、悩んでいることや不安に思うことは、コミュニケーションを取り、周りの方々に頼ることができます。

# 宮城県職員の魅力

- 職場と相談の上、育児休業を取得したことで（令和5年度中）、ワークライフバランスを両立させることができました。

# 私の公務員試験対策

(参考までに・・・)

- ・勉強が得意な方ではありませんでした。
  - 模試や過去問を繰り返し解いていました。  
その中でも間違ったところを重点的に勉強していました。

# 先輩職員からのメッセージ

- 今できることに真剣に取り組んでください。  
（学生生活や趣味などの私生活 など）
- 宮城県で働くことは、決して楽なことばかりではありません。  
しかし、大変な業務を完了したときは、大きな達成感もありますし、  
宮城県に貢献しているというやりがいもあります。